

診療時間

平日 11:30~13:45 / 15:00~19:30
 土曜 11:30~13:45 / 15:00~19:30
 日・祝日 11:30~18:30
 休診日 年末年始

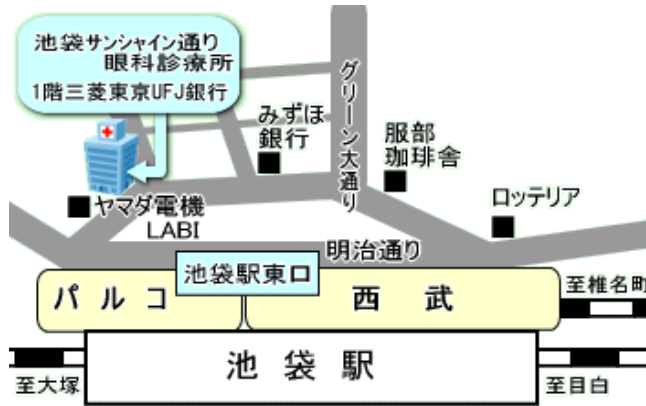
月	火	水	木	金	土	日
堀 (11:30~19:30)	平井 (11:30~13:45)	堀 (11:30~19:30)	堀 (11:30~17:00)	本間 (11:30~19:30)	新川 (11:30~19:30)	新川 (11:30~18:30)
	藤谷 (15:00~19:30)		上田 (17:00~19:30)		藤谷 (11:30~14:30)	代診 (11:30~16:30)
					奥山 (15:00~19:30)	

専門外来

◎…終日 △…11:30~17:00 ●…17:00~19:30

	月	火	水	木	金	土	日
角膜	◎		◎	△			
網膜・硝子体						◎	◎
白内障						◎	◎
黄斑						◎	◎
緑内障				●		◎	◎
ぶどう膜					◎		

Access



JR・東京メトロ(丸の内・有楽町)
 東武東上・西武池袋線
池袋東口出口徒歩1分

東口 LABI(ヤマダ電機)となり
三菱東京UFJ銀行のビル5Fです

当院ホームページ

様々な情報を掲載しておりますので是非ご覧ください。

当院はパソコン・スマホでも予約を受け付けております。

<http://www.ikec.jp/>



総合案内

池袋駅東口徒歩1分・土日も診療



医療法人社団 東京みどり会

池袋サンシャイン通り眼科診療所

明るくて、くつろげる雰囲気の院内で
 真心のこもった丁寧な眼科診療をモットーにしております。
 お気軽にお立ち寄りください。

院長 堀 好子 (日本眼科学会認定 眼科専門医 医学博士)

東京都豊島区東池袋 1-5-6 アイケアビル5F

TEL & FAX **03-3981-6363**



<http://www.ikec.jp/>

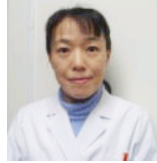


ご挨拶

こんにちは、池袋サンシャイン通り眼科診療所です。当院は、池袋駅東口前に立地し、通勤通学の途中にお越しになる患者さまを中心として、お子様からお年寄りの方まで幅広い層の方々にご利用いただいている眼科です。患者さまとのコミュニケーションを通し良質かつ丁寧な眼科医療を目指しております。

院長：堀 好子

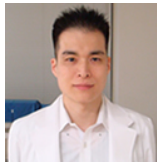
(日本眼科学会認定 眼科専門医 医学博士)
所属学会：
日本眼科学会会員、日本眼科医会会員、
日本角膜学会、日本眼科手術学会
日本眼内レンズ屈折手術学会



昭和61年 岩手医科医学部 卒
平成2年 岩手医科大学大学院 卒
平成3年 岩手県立大船渡病院 眼科医長
平成5年 岩手医科大学眼科助手
平成5年 ハーバード大学スケブンス眼研究所勤務
平成9年 東京歯科大学眼科勤務
平成9年 南青山アイクリニック勤務
平成20年 東京歯科大学市川総合病院勤務
平成22年 池袋サンシャイン通り眼科診療所 管理医師就任

新川 恭浩医師

(日本眼科学会認定 眼科専門医)
所属学会：
日本眼科学会、日本網膜・硝子体学会、
日本眼科手術学会
眼科PDT認定医



現在までの白内障手術件数 3000件程度

平成13年 熊本大学医学部卒
平成14年 京都大学医学部 眼科学教室入局
平成14年 島田市立島田市民病院 勤務
平成20年 高松赤十字病院 勤務
平成22年 公益財団法人田附興風会 北野病院 勤務
平成26年 当院常勤医師就任



当院で扱っている主な検査治療機器

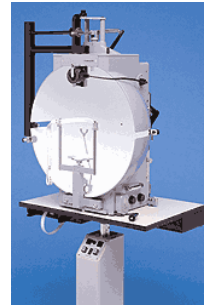
緑内障検査に用いられる主な機器

ハンフリーフィールドアナライザー



ハンフリー視野計は、主にものを見る中心部近くを詳しく検査します。客観的に視野を捉えることができ、結果を統計的に判断することが可能です。緑内障の診断・経過観察には不可欠な検査です。

ゴールドマン視野計 (GP)



動的指標を用いて動的視野の計測を行います。
180度の視野角の検査にも用いられ、全体の視野の形状を検査で知ることが出来ます。

網膜等検査治療に用いられる機器

DRI OCT Triton(3次元眼底像撮影装置)



近赤外線を利用した眼底の検査機器で、これまで行えなかった網膜の断面の観察が出来るようになり、網膜疾患、特に黄斑部病変の精密な診断が早期かつ正確に行うことができます。

光凝固装置(グリーンレーザー光凝固装置)



光エネルギーを用いて網膜周辺部や黄斑部の蛋白凝固や虹彩切開を行い、眼底疾患や緑内障を治療する機械です。

角膜検査治療に用いられる機器

前眼部解析装置(ペンタカム)



ペンタカムは、角膜形状解析等の検査を、約2秒・1回の測定で正確に行え、角膜乱視の測定やコンタクトレンズのフィッティングシュミレーション、円錐角膜(角膜炎が前方に突出する病気)等の早期発見を目的として使用されています。

角膜表面だけでなく角膜の裏側のカーブ(曲率)や凸凹の具合、角膜の厚みなど角膜の形状を詳しく、他覚的に解析し、カラーマップで表示します。
混濁の程度などを確認することもできるため、白内障の進行をデータとして表示させることも可能です。
また、前房隅角(角膜と虹彩の付着部の角)の形状も解析可能なため、緑内障診断にも役立ちます。

ドライアイ治療に用いられる機器

涙点プラグ

涙点プラグは、涙の流出口にプラグ(栓)を差し込むことにより、涙を表面にためる治療法です。
点眼治療でもドライアイが改善されない方は、ぜひご相談下さい。

